

# 2021（令和3）年度公益財団法人青少年野外活動総合センター 事業報告書

## 全体概要

2021年度は5月の断続的な降雨に続いて7月後半には急激に気温が上昇、しかも、8月は降雨によって低温が続いた。また、10月になってからも30度を超える日が断続的にあり、春から秋にかけて、例年とは異なる不順な気候が続いた。

また今年度は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）に大きく影響された一年であった。京都府に緊急事態宣言（以下、宣言）が発出されたり、まん延防止等重点措置が今年度も取られることがあった。宣言発出中は、京都府立の施設である木津川運動公園が臨時休園した。しかし実質は、一般用の駐車場のみの閉鎖であり、車で来園する遠方からの来園者を抑制するものであった。公園では、宣言期間中のイベントをすべて中止した。また大きなイベントはほぼ開催できなかった。

5月10日から31日にかけて、コロナ対策として在宅勤務などを推奨されたが、事業所でしかできない業務が大半で、出勤・対面業務を前提としたコロナ対策とした。事務所の机上にアクリル板のパーテーションを置き飛沫感染を防いだ。マスクの常時着用、石鹸や手指消毒剤の完備、キャンプ中の食事を全て個人別（弁当など）にすることなどを実行した。

またコロナの影響によって、2020年の6月より正職員全員の給与をほぼ1割カットしていたが、今年度も戻すことはできなかった。ただし今年度の全体としての業務成績は、2020年度と比べると次第に回復はしてきている。表1を見ると、公益1（子ども育成業務）と収益1（友愛の丘施設業務）も回復傾向にあることがわかる。このことから2022年度はさらに回復傾向が鮮明になるのではと期待できるだろう。そのこともあり2022年度からは、少しずつではあるが給与の減額を解消し始めている。

なお公益3（木津川運動公園指定管理業務）と収益2（主に大正池グリーンパーク施設業務）に限っては、さほど大きな影響は受けていない。

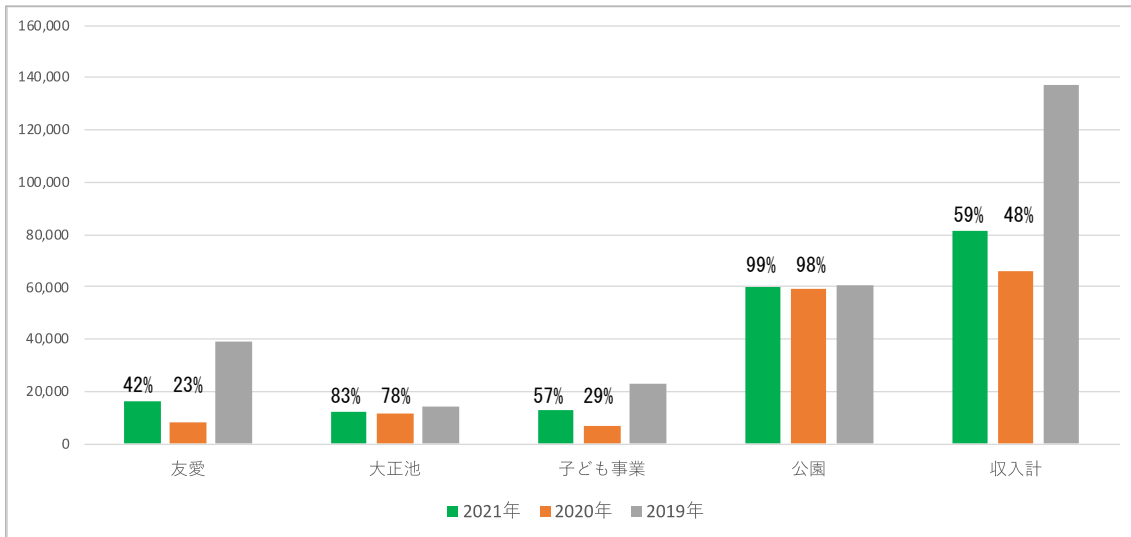


図1 3年間の売上比較（千円） %は2019年度を100%としたときの割合

友愛の丘施設事業は、野外利用を中心に回復傾向となった。特に秋から始めたインターネットの施設予約サイトへの登録は大きな効果があり、従来ならオフシーズンである冬期のテント宿泊者が大幅に増加した。しかし、利用単価の高い館内宿泊はほぼ戻らず、また館内野外ともに学校利用がほとんど戻らず、残念ながら完全回復には至っていない。

大正池グリーンパークも、大きな減少にはなっていないが、団体利用は回復せず、収益に貢献するところまでは届いていない。

また、子どもキャンプ事業と指導者育成事業は、感染対策を考えた上で、一事業あたりの定員を抑制したり積極的な広報を控えたり、テント泊を取りやめたり、連泊の事業を少なくするなどして開催した。このため開催事業の数は戻ってきたものの、全体的な参加者数は今までと同様にまではならず、コロナ以前にまではまだ戻っていない。

京都府立木津川運動公園の指定管理事業でも、2021年春と夏の宣言発出による影響もあり、前年に引き続き規模の大きなイベントの開催はできなかった。なお、京都府立木津川運動公園の指定管理期間は今年度までであったが、競合他社を抑えて、引き続き今後5年間の指定管理も獲得することができた。

このようにコロナの影響は、今年も全事業課に渡り大きな影を落とした。引き続き苦しい一年であったと言わざるを得ない。来たる2022年度は、なんとかコロナの出口を見ることのできる年であってほしいと切に願う。

また友愛の丘周辺では、新名神高速道路建設が本格化している。建設工事に伴う近隣の森林消失からか、昨年より友愛の丘敷地内にイノシシやシカが頻繁に侵入してくるようになり、今年度には城陽五里五里の丘でもシカが頻繁に目撃

されるようになった。今のところ人的被害は出ていないが、草木への影響は大きい。しかし駆除は難しく、手をこまねているのが実情である。

新名神高速道路の開通は一年延期されたが、木津川運動公園北側区域の建設も遅れているようである。しかし今後の建設進捗により、友愛の丘での活動が大きく制約されてくることが予測される。

## 1 公 1 野外活動や青少年育成を行う活動

### 事業の概要

単発事業については、昨年休止していた宿泊事業を再開した。コロナ対策として、定員を減らし、広報も控えながら事業を実施した。応募が多くキャンセル待ちが出たキャンプについては、スタッフを増員し定員を増やすことができたものもあった。しかし広報を控えたためか、定員に達することのできないキャンプも多かった。昨年度に実施したスキーキャンプなどの遠征事業で得たコロナ対策の経験を生かし、海のキャンプや大正池でのキャンプなど、友愛の丘以外でも安定して実施することができた。

コロナ禍であっても自然体験をさせたいという方々にキャンプ募集の情報が届くよう、今後は広報を工夫する必要があると改めて実感した。

通年事業については、感染者増による欠席が多くなる回もあったが、日程を延期するなどの対応をし、おおむね予定通り実施することができた。野外炊事、宿泊など、まだまだ考慮しなければならないプログラムもあるが、2022年度に向けて、今までの経験を活かせる点も多く見つかった。

学生スタッフについては、コロナによる学業予定の変更や、感染への不安から、必要数の確保に苦労することが多かった。そのこともあって、参加者を定員よりも少なくしなければならないこともあった。

2022年度はこの状況が少しでも改善し、参加者もスタッフが安心して参加できるようにしていくことを望みたい。

表 1-1 単発事業の詳細

名称	実施日	対象	参加費（税込）	定員	参加者	スタッフ数
水あそびキャンプ	7月24日～ 7月25日	年少児～ 小学3年生	16,000円	15名	19名	11名
カヌーキャンプA	7月25日	小学4年生～ 中学3年生	10,000円	5名	7人	4名
カヌーキャンプB	7月25日	小学4年生～ 中学3年生	10,000円	5名	最少人数に届かず 中止	
親子キャンプ	7月28日～ 7月29日	親子	大人12,000 子供10,000円	6家族	8家族 21名	2名
いきものキャンプ	7月31日～ 8月1日	年中児～ 小学4年生	16,000円	15名	15名	5名
夏の森あそびキャンプ	8月3日～ 8月4日	年少児～ 小学3年生	16,000円	15名	26名	15名
海の子ども自然村	8月6日～ 8月8日	小学1年生～ 中学3年生	39,000円	30名	20名	13名
夜の生き物探しキャンプ	8月9日～ 8月10日	小学1年生～ 小学6年生	16,000円	15名	16名	5名
バンブーキャンプ	8月11日～ 8月13日	小学4年生～ 高校3年生	23,000円	15名	18名	7名
星空キャンプ	8月15日～ 8月16日	小学1年生～ 小学6年生	20,000円	12名	14名	7名
はじめてのお泊まりキャンプ	8月17日～ 8月18日	年少児～ 年長児	16,000円	15名	8名	6名
はらっぱであそぼうキャンプ	8月19日～ 8月20日	小学1年生～ 小学6年生	16,000円	15名	12名	
カヌーキャンプC	8月20日	小学4年生～ 中学3年生	10,000円	5名	7人	4名
夏まつりキャンプ	8月21日～ 8月22日	年少児～ 小学3年生	16,000円	20名	16名	11名
夏のおもいでいっぱいキャンプ	8月24日～8 月25日	小学1年生～ 小学6年生	16,000円	15名	14名	8名
おちばキャンプ	12月18日	年少児～ 小学6年生	7,000円	25名	4名	6名

1月スキーキャンプ	1月8日～ 1月10日	小学1年生～ 中学3年生	52,000円	35名	26名	11名
3月スキーキャンプ	3月18日～ 3月21日	小学1年生～ 中学3年生	60,000円	35名	22名	10名

表 1-2 通年事業の詳細

部門名	実施回数	対象	年会費(税込)	定員	会員数	スタッフ数
りとるちきゅうくらぶ	全20回	年少児～年長児	44,000円	30名	17名	3名
じゅにあちきゅうくらぶ	全20回	小学1年生～ 小学3年生	44,000円	40名	32名	4名
サタデーキッズクラブ	全33回	年中児～小学 4年生	66,000円	30名	14名	3名
パイオニアアドベンチャークラブ	全11回	小学4年生～ 中学3年生	55,000円	20名	18名	5名

## 2 公2 野外活動や青少年育成に携わる人材を育成する事業

### 2-1. 友愛の丘キャンプカウンセラー

設立当初より、友愛の丘を利用するキャンパーの援助と、キャンプ場の充実などを目的として、キャンプカウンセラーを育成している。キャンプカウンセラーは主として大学生ボランティアによって組織され、育成されたキャンプカウンセラーは、友愛の丘を利用する青少年キャンパーの援助にだけでなく、友愛の丘主催キャンプや通年活動などの指導にもあたっている。

2021年度は、大学の授業が対面も増えたことから研修や活動への参加も増え、前年度に比べるとキャンプカウンセラー活動は活発になり始めたと感じている。しかし、コロナに対する不安感や、保護者の方から反対をされているので参加できないという人も多く、キャンプカウンセラー内での経験の差が顕著になり始め、自分の居場所をなかなか見つけることができないという問題も出ていた。オンラインでの研修も多い1年だったため、本来なら対面研修でできていたキャンプカウンセラー同士のコミュニケーションがこの1年も取りづらかったというのもこの問題の原因の一つと思われる。

表 2-1-1 キャンプカウンセラー研修実績報告

日程	内容	場所	出席者数
4月4日	現役カウンセラー研修	友愛の丘	32名
4月13日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	25名
4月27日	応急処置やその流れについて	オンライン	31名
5月11日	全体ミーティング	オンライン	26名
5月15日～ 16日	フレッシュ研修	友愛の丘 オンライン	15日 37名 16日 46名
5月25日	友愛の丘のルールについて	オンライン	46名
6月8日	コミュニケーション技術	オンライン	44名
6月22日	活動における振り返りについて	オンライン	45名
6月26日～ 27日	熱中症や、応急処置、危険な動植物 について	友愛の丘	41名
7月6日	キャンプ中の子どもとの関わりにつ いて	オンライン	41名
7月20日	保護者対応について	下京青少年活動センター	33名
9月7日	夏の振り返り	オンライン	30名
9月21日	ロールプレイング	オンライン	33名
10月5日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	30名
10月19日	グループワーク	キャンパスプラザ京都	43名
11月2日	ハイク（読図）	キャンパスプラザ京都	28名
11月16日	ハイクの服装、持ち物について	キャンパスプラザ京都	36名
12月7日	2021年のふりかえり	下京青少年活動センター	33名
12月19日	Co.企画（ハイク）	京都～友愛の丘	37名
12月21日	Co.企画の振り返り	下京青少年活動センター	31名
1月11日	2022年の抱負	下京青少年活動センター	28名
1月25日	キャンプにおける役割とは	オンライン	39名
2月8日	キャンプの対象、目指すところ	オンライン	33名
3月8日	1年間のまとめ	ひと・まち交流館	28名
3月22日	新年度について	ひと・まち交流館	17名

## 表 2-1-2 ワーク活動

友愛の丘の施設改善を目的に、以下のワーク活動を行った（のべ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	0	7	2	16	0	12	0	5	0	0	0

## 2-2. ジュニアリーダー

中学生・高校生の社会参加と居場所作りを目的にジュニアリーダーを育成している。ジュニアリーダーは主に通年事業の元参加者で構成されており、友愛の丘主催キャンプや通年事業でキャンプカウンセラーの補佐にあたっている。

2021年度もコロナのことがあり、夏以降の対面での研修は全て中止としたが、事業にスタッフ参加した際に担当職員やキャンプカウンセラーとともに振り返りを行うなど、個別での直接指導は行った。

次年度の研修については、ジュニアリーダーの学校の試験期間なども参考にしながら研修日程を調整していきたい。

表 2-2 ジュニアリーダー研修一覧

ジュニアリーダー研修報告			
日程	内容	場所	出席者数
4月29日	名前決め、グループワーク	友愛の丘	10名
6月、9月	コロナのため中止。		

## 2-3. 青少年野外活動指導者育成事業（京都府青少年課受託事業）

京都府から委託された青少年野外活動指導者育成事業、および、定期的開催する各種の勉強会、厳冬期トレーニングを目的とした長期の「パイオニアキャンプ」などのトレーニング事業を実施した。対象が一般のものは、参加者からの要望もあり、宿泊だけでなく日通い、期間短縮でも参加できるようにしたこともあり、当初よりも参加者が増えた。

なおパイオニアキャンプでは、京都府キャンプ協会の協力を得て、（公社）日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター資格講習会として開催した。

表 2-3 青少年野外活動指導者育成事業一覧

名称	実施日	対象	参加者数
アウトドアリーダーチャレンジ 研修会 スキルアップ研修会	9月18日～19日 (宿泊、日通い)	一般	32名
京都ティーンズチャレンジ キャンプ	11月27日～ 11月28日(宿泊)	小学4年生～高校生	15名
青少年キャンプ指導者講習会 「パイオニアキャンプ」	2月21日～24日 (宿泊、日通い)	一般	40名(延 べ人数)
京都ティーンリーダーズチャ レンジキャンプ	3月26日～28日 (宿泊)	小学5年生～ 高校3年生	14名

### 3 公 3 自然環境保全施設の運営を通じた野外活動及び青少年育成事業

#### 3-1. 京都府立木津川運動公園指定管理事業

2021年度は指定管理期間2期目の最終年度(5年目)だった。これまでの4年間の実績を踏まえながら事業(イベント)を運営するとともに、なるべく効率的な管理運営を行った。

府民協働による自然再生の森づくりでは、森守クラブ城陽と連携した活動のほか、団体や企業等の参加など、より幅広い活動への参加を理想としている。しかしコロナ拡大が影響して、活動を自粛する団体等が相次いだ。2021年度の植樹は100本にも満たなかった。また、森守クラブ城陽がまもなく結成15年を迎え、高齢化が活動に影響を落としつつある。斜面での作業や重い荷物を運ぶ作業はおのずと作業効率が緩やかになってしまう。コロナ拡大が落ち着き次第、次世代の担い手を募集し、育成することが求められている。

一方、森づくり活動のうち植樹活動の回数が減ったことで活動時間にゆとりができ、これまで10年以上かけて苗木を育て、定植してきた森をじっくりと振り返る時間を森守クラブ城陽のメンバーと作ることができた。定植して5年以上が経過した場所の草刈りや枝打ち、間伐をするなど、苗づくりと植樹以外の活動に移行するきっかけになった。



公園で活動するボランティアグループも4団体（森守クラブ城陽、はらっぱ花壇クラブ、プレイリーダー、五里五里紙ヒコーキくらぶ）が定着し、その組織化とフォローアップも重要な活動となった。

公園の認知度はさらに上がり、多くの府民に活用されることができた。コロナ拡大の影響により、部活動ができない中学生や高校生が数人で放課後に来園する姿が目立った。4月開催予定だった外部団体による持ち込みイベント

「Pocket Marche in 城陽」はその2日目から宣言が発出され、中断せざるを得なかった。公園の代名詞でもある「熱気球フェスタ 2021」も熱気球搭乗は中止し、イベント規模も縮小することを余儀なくされた。4月～6月に宣言が発出されたため、最も来園者数が見込まれる時期にも関わらず伸び悩んだ。

宣言中、京都府は①公園は臨時休園する（イベント中止、駐車場閉鎖）、②ただし府民の健康維持のため出入口の門は通常通り開放する（近所の住民が散歩等に訪れることができ、自粛中の気分転換ができる）としたため、車で来園した府民が周辺道路に路上駐車し、近隣住民に迷惑をかけてしまった。

自然再生と環境教育の場として、また府民参画・生涯学習の場として、青少年の健全育成の場として、より一層充実した運営を今後も目指す。

大学生ボランティアのプレイリーダーは1年目6人、2年目6人、3年目以上3人の合計15人が在籍している。「生きものみつけ」や「はらっぱ星空観望会」といった自然観察イベントを通じた環境教育や、「ごりごりの丘 プレイパーク」や「こま凧をつくって遊ぼう!」のような親子と一緒に遊び工作するイベントに参加して、小学生を中心とした子どもたちが心と体を育む現場に寄り添った。

公園の基本方針及び月ごとの来園者数、指定管理事業・自主事業・森づくり実施結果は、表3-1-1～6の通り。

表 3-1-1. 京都府立木津川運動公園の基本方針と取り組みの一覧

基本方針等	具体的な取り組み
1. 府民参画により森を再生する 府民と協働で、山砂利採取地を 豊かな森に再生する。	② 森づくりの作業の支援
	②森の仲間づくり（多様な団体等の参画の推進）
	③森の人材育成
2. 森を学ぶ・楽しむ場とする 森を学び・楽しむプログラムを 提供する。	① 森を活かした季節のにぎわいイベントの開催
	②環境学習プログラムの提供
3. 快適な空間づくり 芝生広場や水辺など美しい公園 の維持管理を徹底する。	① エントランスから始まるウエルカム的心
	② 快適な芝生広場の管理
	③ おおらかで細やかな水辺の風景づくり
	④ 花の小径づくり
	⑤ 特色ある原っぱの風景づくり
	⑥効果的・効率的な維持作業
4. 持続可能な管理運営のシステ ムづくり	①森づくりの組織づくりと運営
	②公園管理データの一元管理（植栽、修繕デー タ）
	② 業務の評価と改善システム（PDCA サイクル）
5. 公園を広く知ってもらおう	①多様な広報の推進
	②地域や団体等府民との連携による知名度の向上
<p>公園面積 約 13ha</p> <p>大芝生広場 約 19,000m<sup>2</sup>    ファミリー広場 約 4,800m<sup>2</sup>    多目的広場 約 2,900m<sup>2</sup>  ちびっこ広場 約 1,300m<sup>2</sup>    サークル広場 約 1,100m<sup>2</sup>    果樹園 約 6,200 m<sup>2</sup>  南エントランス 約 3,200 m<sup>2</sup>    参画・再生の森 約 35,000 m<sup>2</sup>    防災調節池  約 21,000 m<sup>2</sup>    休憩施設 3棟    展望台 1棟    駐車場 約 3,900 m<sup>2</sup>    など</p>	

表3-1-2 開園日数、利用者数、駐車台数等集計(2021年度)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	27	26	23	23	25	26	308
利用者(人)	8010	4420	2830	3600	2490	2300	9500	8050	3480	5430	4880	6310	61300
駐車場(台)	2610	0	540	1375	610	0	3140	2980	1240	1990	2100	2320	18905
会議室利用者(人)	259	0	87	343	167	0	269	265	215	213	367	253	2438
指定管理事業参加者数(人)	136	14	148	145	12	0	454	394	173	130	216	287	2109
自主事業参加者数(人)	2185	358	381	779	304	201	2667	2415	791	865	588	713	12247
備考	25日～緊急事態宣言	プラス中止 緊急事態宣言	～20日 緊急事態宣言		20日～緊急事態宣言	～30日 緊急事態宣言	秋花火無観客・緑化F中止・ボケマル開催	気球F中止・オータムF & ダンスF & GG大会開催	光の祭典開催	新春！開催		ごちそうF中止	

表3-1-3 開園日数、利用者数集計(2014～2021年度)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計	
指定管理 第一期	2014年度 (平成26)	開園日数(日)	26	26	26	26	25	26	25	26	23	23	24	27	303
		利用者(人)	4120	5125	2850	1770	1375	3640	13760	10610	2234	2618	3010	6970	58082
	2015年度 (平成27)	開園日数(日)	26	27	26	26	27	26	26	26	23	23	26	26	308
		利用者(人)	6050	10955	4540	3660	3520	5520	15740	8495	2480	4320	3222	6860	75362
	2016年度 (平成28)	開園日数(日)	26	28	25	27	28	26	27	27	23	23	24	26	310
		利用者(人)	4440	9940	3260	3570	4735	7380	15560	8510	4170	3930	4390	10090	79975
合計来園者数													213419		
平均来園者数(年)													71140		
指定管理 第二期	2017年度 (平成29)	開園日数(日)	26	28	25	27	26	26	27	26	24	24	24	26	309
		利用者(人)	8540	10860	4788	4550	4107	6180	17055	8934	3500	3420	3750	9430	85114
	2018年度 (平成30)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	27	25	23	23	24	28	308
		利用者(人)	7083	9771	5370	3540	3310	5140	28532	9647	3450	4040	4060	21810	105753
	2019年度 (平成31) (令和元)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	25	26	23	23	25	27	307
		利用者(人)	6020	12078	4430	3910	2890	6220	24650	12450	4110	5930	7160	14480	104328
	2020年度 (令和2)	開園日数(日)	25	27	26	27	27	26	26	26	23	23	25	27	308
		利用者(人)	10560	9890	5580	3110	3870	6570	7960	7270	4915	3810	8420	7230	79185
	2021年度 (令和3)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	27	26	23	23	25	26	308
		利用者(人)	8010	4420	2830	3600	2490	2300	9500	8050	3480	5430	4880	6310	61300
合計来園者数													435680		
平均来園者数(年)													87136		

表3-1-4 指定管理事業(イベント等)結果(2021年度)

事業名	実施日	参加者	単価	個数	合計	回数	備考
		(人)	(円)		(円)	(回)	
幼児プレイパーク	年間	499	0	499人	0	16	原則月2回 参加費無料(8月除) 4月5月9月中止(コロナ)
ごりごりの丘プレイパーク	年間	755	0	755人	0	8	月1回 参加費無料(8月除) 4月5月9月中止(コロナ)
再生の森づくり	年間	623	0	623人	0	39	原則月4回 9月中止(コロナ)
花いっぱい活動	年間	170	0	169人	0	60	毎週水曜・土曜 雨天中止、9月中止(コロナ)
生きもの塾	春と秋	72	0	72人	0	3	参加費無料 年4回、9月中止(コロナ)
広報活動	随時	-	-	-	-	-	
合計		2119			0	-	



### 3-2. 公園の管理について

大芝生広場中央部、大芝生広場周縁部については、年間を通して安全でフワフワで、気持ちの良い芝生を提供することを目指して管理をした。

また前年度とおなじく、特に調節池周辺の一部をカヤネズミ保護区として全く管理の手を加えず人の立ち入りも制限する区域や、一定の草丈確保をしてバッタの多様性を高めることと公園管理の両立をはかるため、草地のトラ刈りをおこなう区域を設けた。

これまで創出してきた多様な自然環境を大切にし、府民参画・再生の森や里山の風景創出エリアにおいて、植物の生長や動物（虫や哺乳類、鳥類など）のすみかを尊重した豊かな環境づくりを補助する管理を目指した。

公園部分では今までの経験に基づく効率的で効果的な管理を目指した。開園して8年目となり一部の設備で目立つ老朽化の対策を実施した。特に自然環境を意識して樹脂やアスファルトではなく、木や砂を使って作られている設備での劣化が顕著である。サークル広場（屋外）のウッドブロックが雨や日光で痩せるとともに菌類による分解が進み歩くと滑りやすいなどのリスクが出てきたため、インターロッキングに交換した。大芝生広場と防災調節池を結ぶ階段の枕木も年間10万人近い来園者の通行による摩耗や欠損が頻繁に生じたため、景観よりも安全を重視した擬木を使用して階段を修繕した。そのほか、なら枯れにより倒木の恐れがあった樹木の撤去や、排水改善工事、園路の補修工事等を行った。今後も適材適所の管理を進めていく考えである。

これまで未供用だった公園東側区域が2021年3月に供用された。展望台やそこに続く数本の園路は、再生の森の中を通り、木陰や遠景を楽しみながら歩く、起伏に富んだ散歩コースを新しく生み出した。毎日誰かが展望台までの道を登っていて、森林の季節ごとの風景を楽しんでいる。一方で、再生の森エリアと公園エリアの境界に設置されていたフェンスが撤去されたため、シカが園内を行き来する姿が頻繁に目撃されるようになった。周辺の新名神開発工事によってすみかを無くしたシカのようなのである。園内では、花壇の花や森の木々の新芽や皮をシカが食べる被害が相次いでいる。公園管理をする上で、再生の森や里山エリアでは生き物の共生を目指す一方で、公園エリアでは人間のための行き届いた芝生や植え込みの管理を目指している。両方のエリアを行き来できるようになったシカをどのように受け止めるのか、京都府や城陽市と思案しているところである。周辺の住宅地でも、開発の影響によるシカ被害が例年の5倍に増加していることから、単にシカを公園敷地外に追い出すだけでは解決にならないようだ。

管理の実施詳細は、表3-2-1及び表3-2-2の通りとなった。

図 3-2-1. 公園全域図

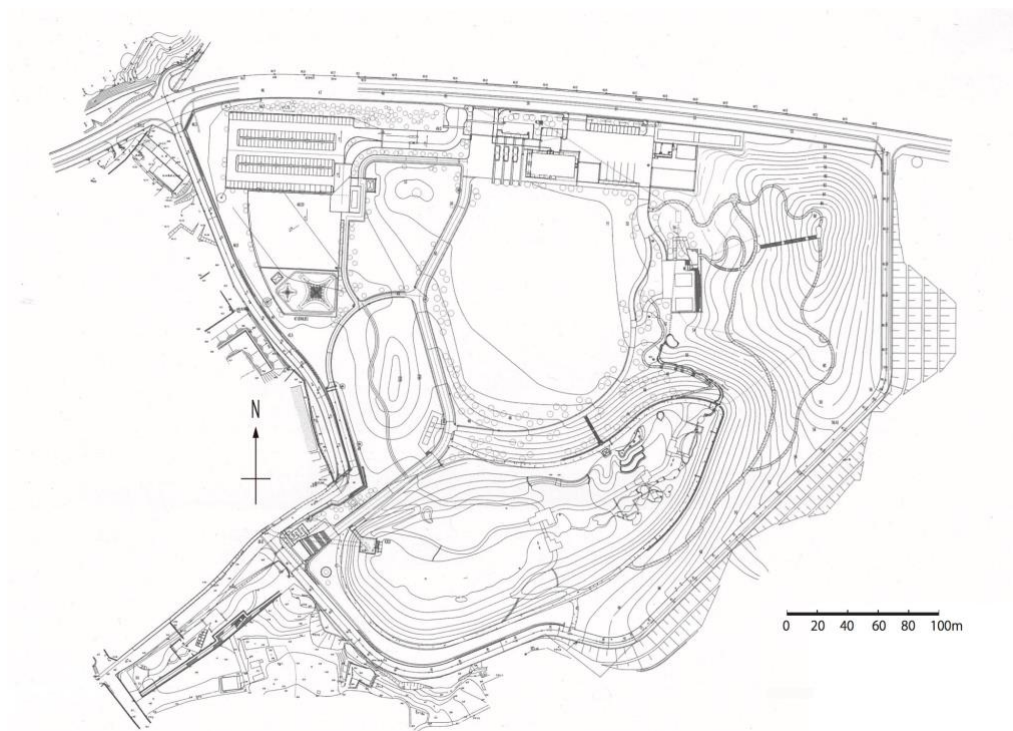


表3-2-1 年間維持管理実績 (2021年度) その1

年度	備考												合計										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月				
芝生地管理	10~15回	大芝生広場中央部	2020年度	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7		
		2021年度	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
	7回	大芝生広場周縁部、ファミリア広場、調節池周辺	2020年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
		2021年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
	1回	状況に応じて行う	2020年度	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	適宜	芝補植	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	1回	エアレーション	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
1回	目土掛け	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
適宜	灌水	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
植栽管理	草刈り	草刈り	2020年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
		2021年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
		調節池流入部、棚田、水際植栽部分	2020年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
	2021年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	
	植栽管理 (高木管理)	剪定	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		病害虫防除	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	植栽管理 (中低木管理)	刈込み	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病害虫防除		2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
除草 (下草刈り)	灌水	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施肥	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
苗木植栽管理 (駐車場周辺、再生の森、公園外周圃地、ほか)	除草 (下草刈り)	2020年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
	2021年度	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	灌水	2020年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

表3-2-2 年間維持管理実績 (2021年度) その2

		備考												合計		
		年回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
集落果樹林管理																
植	草刈り	5～8回	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	9	
	剪定	随時	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7	
	病害虫防除	発生時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	灌水	適宜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	施肥	適宜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	草花管理	随時	4	4	2	5	5	6	7	7	4	3	3	1	45	
	水際植栽管理	随時	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7	
	宿根類、花木類の補植	随時	2	2	3	1	1	1	1	3	2	2	0	0	8	
	除草	10～15回	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	16	
	灌水	適宜	1	3	2	0	9	3	2	2	1	2	0	0	24	
施肥	適宜	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	14		
病害虫防除	発生時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		
展望台排水区域																
管	草刈り	7回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	除草、下草刈り	2～4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	剪定	随時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	枯損木処理	発生時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	病害虫防除	発生時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	清掃	週6回以上	25	27	26	27	27	26	26	26	26	23	23	25	27	308
	園内清掃	週6回以上	26	27	26	27	27	26	26	26	26	23	23	24	26	307
	建物清掃	随時	25	27	26	27	27	26	26	26	26	23	23	25	27	308
	排水・貯水設備清掃	1回	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	調整池清掃	適宜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
管理・点検	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
電気設備保守	月1回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
遊具点検等	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
巡回警備	随時	25	27	26	27	27	26	26	26	26	23	23	25	27	310	
			26	27	26	27	27	26	26	26	23	23	24	26	311	



#### 4 収 1 野外活動や青少年育成のための宿泊施設、レクリエーション施設を提供する事業

##### 4-1. 友愛の丘利用の状況と、実施した主催事業について

2021年度は、1年前のコロナ騒動初期に比べると利用者数は幾分戻り、回復の兆しを感じられた。今年度も十分なコロナ感染予防の対策を取った上で営業するという方針をとった。4月12日からまん延防止、宣言と7月11日まで規制は続いたが、友愛の丘の利用は途切れなかった。

夏季休暇中の宿泊利用は数件に留まり、売上げの回復には至らなかった。しかし夏を過ぎたころからオンラインのキャンプ場予約サイトである「なっぷ」に登録し、キャンプの受付窓口を増やしたところ、非常に多くのキャンプ利用が増えた。9月から冬季を通して春までも、キャンプ利用が途切れることなく続いた。

年始は早々より高校生の合宿利用が入り、そろそろコロナ騒動も収束かと思われたが、新たな変異株による影響でその一件に留まった。しかし春休みには常連校の合宿利用が入り、いくぶん回復したのではないかと思われる。

これまで団体向けの施設としての態勢を維持してきましたが、利用はほとんど個人や家族が増えてきたように思われます。

また友愛の丘業務課の主催事業として、昨年と同様に家族単位を対象にした「親子キャンプ」を実施した。内容は昨年とあまり変化させず、虫取りや野外炊事、そして工作などの内容で比較的短時間の設定のものだった。定員いっぱいまでになるほどの人気だった。

表 4-1-1 2021年度友愛の丘月別施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
野外	2021	263	1742	721	774	1424	1026	1401	1431	664	261	399	884	10990
	2020	81	0	620	800	841	1098	1254	1078	231	179	128	852	7162
館内	2021	133	479	391	586	1344	431	123	122	202	48	5	40	3801
	2020	0	0	0	62	42	35	20	23	2	0	2	70	256

図 4-1-1 月別利用者推移のグラフ

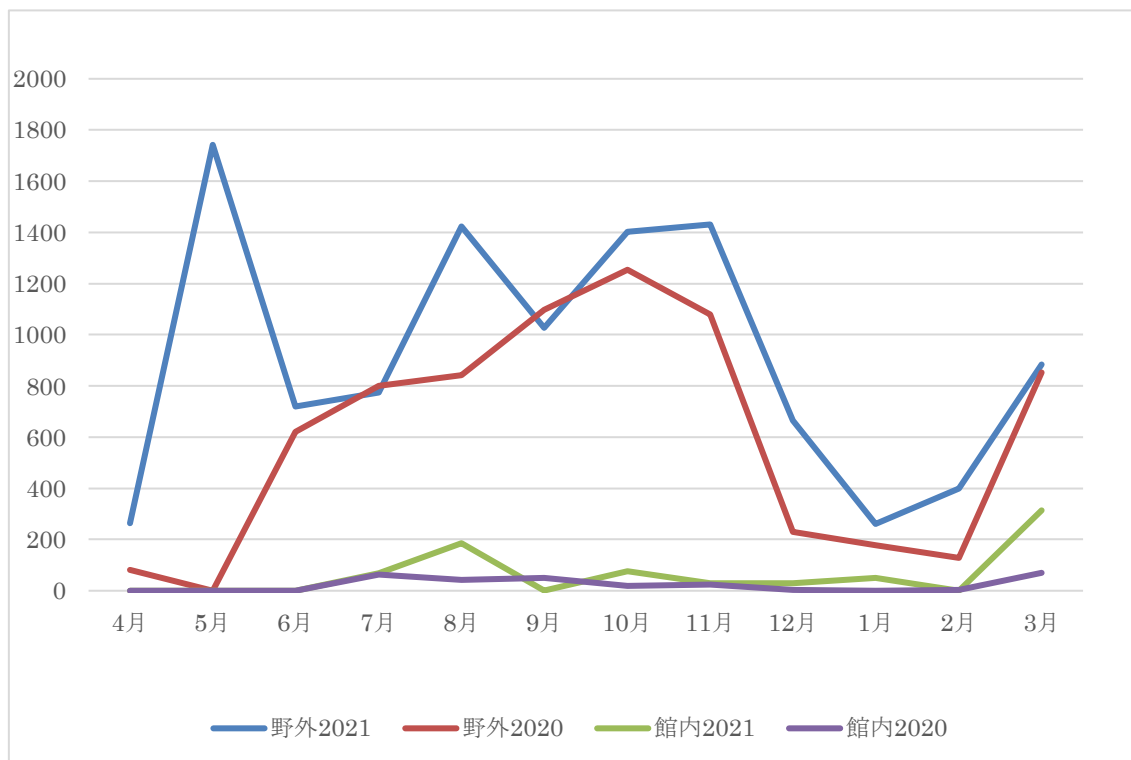
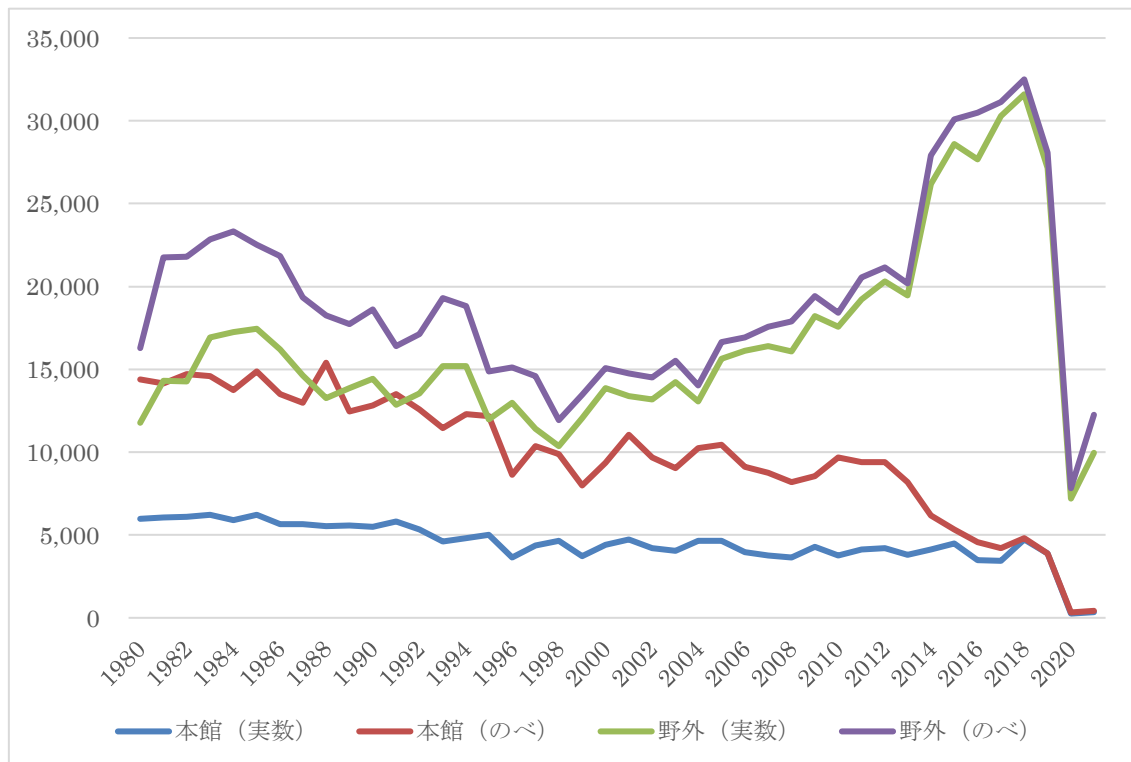


図 4-1-2 1980年から現在までの友愛の丘利用者数の推移



#### 4-2 施設の整備について

例年は、学校遠足利用に対応するため 70 テーブル分以上の席を確保してきた。しかし今年度は利用激減のため、利用する場所を限定し、カマドなど機材の新規購入を避けるように工夫した。

また、うめのさとの屋根の雨漏れが酷くなり、利用に支障が出ていたが、地元の業者の協力を得て、格安で施工してもらうことができた。

8 月には日本財団の「新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援事業」助成に応募し、空気清浄機能の付いたエアコン設置や換気扇の追加設置などの内容で申請したが、残念ながら助成対象に選出されなかった。

2021 年 3 月からはキャンプ利用の増加を受けて、テントサイトの利用を増やせるように、場内整備や予約体制の改善など事務的な準備をすすめた。

図 4-2-1 館内施設の概要

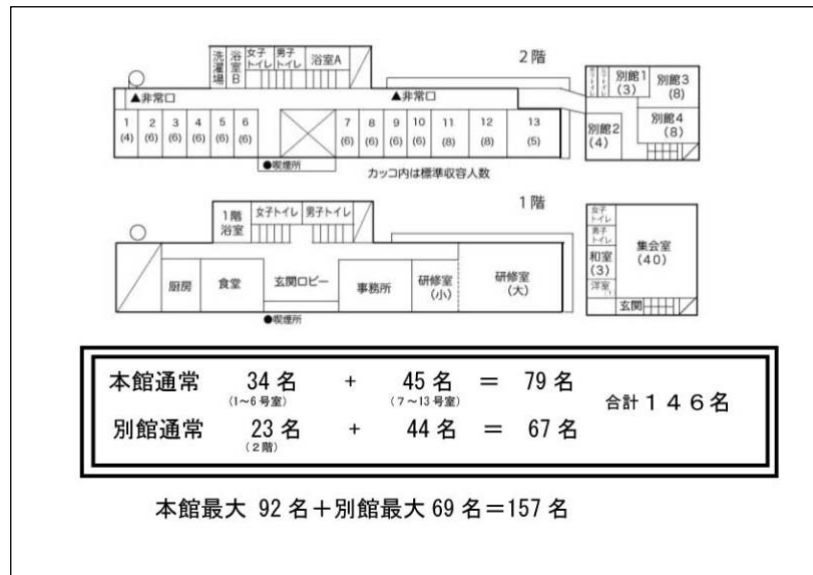
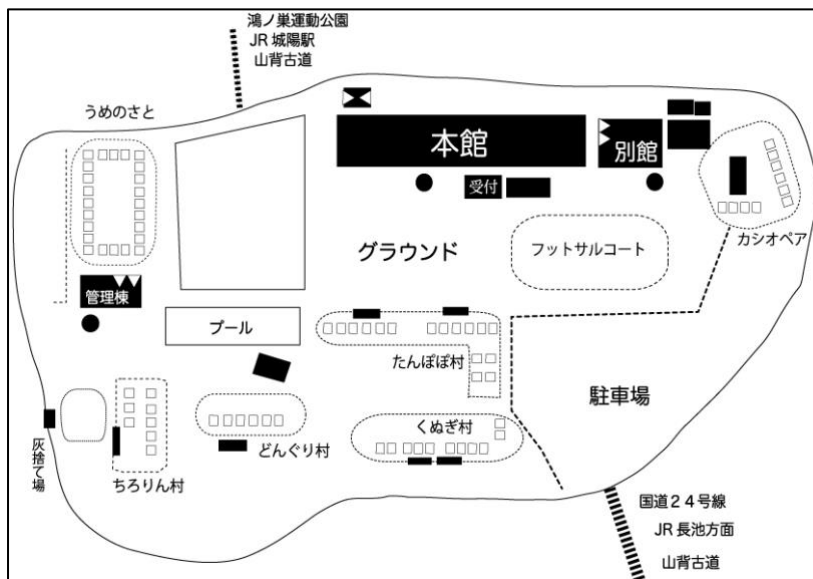


図 4-2-2 野外施設の概要



## 5 収 2 野外活動や青少年育成を行う団体と連携、協力する事業

### 5-1 井手町野外活動センター大正池グリーンパークの 2021 年度事業概要

2021年度は、宣言期間においても臨時休館等の処置を取らず感染拡大防止対策を徹底した上で営業を続けた。またキャンプブームも変わらず続いて、キャンプサイト区画利用数、バンガロー利用棟数も増大した。しかし、利用件数は増加したものの、1グループあたりの人数は小規模化していて、売上としては微増に留まった。

#### 5-1-1 野外活動や青少年育成、自然環境保全を行う事業

昨年度に引き続き、オムロン株式会社・ワタキューセイモア株式会社が大正池グリーンパーク内で行なう森林整備事業を支援する予定だったが、残念ながら大人数での植樹等を行なわれず、最小限の森林整備事業のみとなった。

友愛の丘主催事業による野外活動プログラムを、大正池にて6月から8月の連休中に合計4回実施した。

またさらに今年度は、ハイシーズンに大正池の水位が下らなかったため、利用者のカヤック体験の要望に応えられた。これからも池の管理と活用の両立ができるように井手町に要請したい。

#### 5-1-2 施設および設備を保守管理運営する事業

予約システムの刷新や、受付方法の改善、施設全体の損傷箇所の修理などを行なった。また井手町にバンガロー横のバーベキュー屋根修繕の為に防腐剤の提供を依頼した。

また、前年度は停電や塩素異常等の施設が劣化したことによると思われる不具合が発生。早急に修理及び更新が必要と思われる浄化槽や配電盤の見積もりを町内業者経由にて井手町へ送付した。

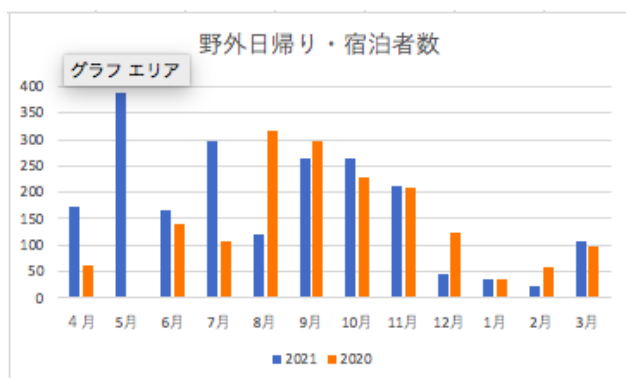
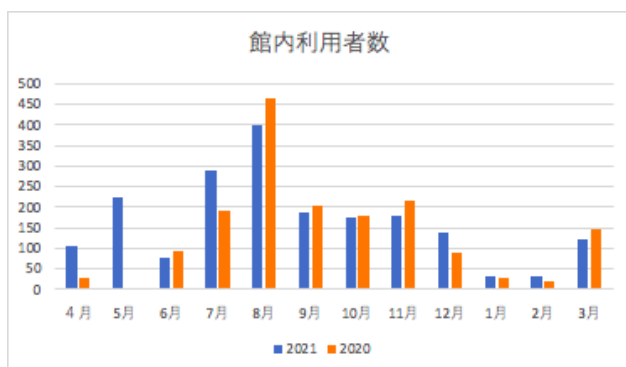
表5-2-1 2021年度大正池グリーンパーク月別施設利用者数

館内利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当年度(延べ人数)	105	223	79	289	399	186	175	178	139	32	34	121	1960
前年度(延べ人数)	28	0	92	190	465	202	178	214	88	27	18	146	1648

野外利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当年度(延べ人数)	174	388	166	296	120	263	264	212	46	34	24	108	2095
前年度(延べ人数)	60	0	141	106	318	297	228	207	125	37	58	97	1674



### 5-1-3 自主事業の開催について

今年度は友愛の丘と協力し、大正池単独では全てを賄うことが出来ずにいたカヤックツアーを積極的に開催した。（実施人数66人）

### 5-2. 丘の上ダイニングへの施設貸与

友愛の丘本館の一部を「丘の上ダイニング」に貸与した。利用者の給食や食材の提供を担うほか、大正池グリーンパークでの食事提供も行なっている。

ただし今年度は、友愛の丘の食堂利用はほとんどなく、大正池グリーンパークの利用は皆無であった。食堂利用は団体利用者に多く、団体利用が大きく減ったため、食堂利用もなくなったものと思われる。こちらも昨年引き続き、事業者には大きな影響が出た一年となった。

6 法人業務

6-1. 役員等に関する事項

2022年3月現在

	役名	氏名	就任年月日	職業
1	代表理事	田口 博康	H27. 8. 1	団体役員
2	業務執行理事	濱野 一彦	H24. 5. 14	センター職員
3	業務執行理事	中村さよ子	H25. 10. 22	センター職員
4	業務執行理事	松田 義弘	H28. 2. 2	センター職員
5	理事	松岡 勲	H24. 5. 14	会社社長
6	理事	荒巻 隆三	H24. 5. 14	京都府議会議員
7	理事	内藤 彰治	H24. 5. 14	団体役員
8	理事	鈴木 崇義	H30. 12. 13	宇治市議会議員
1	監事	道本 俊規	H25. 10. 22	会社経営
1	評議員	安部 和子	H25. 9. 17	司法書士
2	評議員	池西 正治	H25. 9. 17	小学校教諭
3	評議員	伊勢 達郎	H25. 9. 17	団体役員
4	評議員	衣川 斗美子	H25. 9. 17	保育園園長
5	評議員	篠田 常生	H25. 9. 17	団体役員
6	評議員	園崎 弘道	H25. 9. 17	京都府議会議員
7	評議員	高桑 鉄則	H25. 9. 17	団体職員
8	評議員	田中 鈴美枝	H25. 9. 17	生涯学習センター講師
9	評議員	坪内 俊之	H25. 9. 17	会社経営
10	評議員	中村 三之助	H25. 9. 17	京都市会議員
11	評議員	渡辺 邦子	H28. 2. 2	京都府議会議員
12	評議員	青柳 良明	H28. 6. 6	会社役員

## 6-2. 職員に関する事項

2022年3月現在

氏名	就職年月日	担当
濱野 一彦	S57. 4. 1	業務執行理事、財団本部長 府立木津川運動公園園長
中村 さよ子	H9. 7. 7	業務執行理事、財団副本部長 総務部部長
松田 義弘	H22. 3. 21	業務執行理事、財団副本部長
田口 愛美	H20. 8. 21	子ども育成業務課長
篠田 知幸	H23. 11. 21	友愛業務課長、友愛の丘副所長
二本柳 知子	H26. 11. 17	公園業務課、公園副園長
内田 提一	H26. 4. 1	公園管理課長
山本 美樹	H26. 4. 1	公園管理課担当課長
柿本 浩孝	H25. 12. 5	子ども育成業務課
栗田 省吾	H27. 3. 3	公園業務課、公園庶務担当
山村 茂裕	H28. 4. 6	公園管理課
益田 裕一	H29. 1. 1	公園管理課
衣川 匠	H29. 4. 21	大正池業務課
関 伸一朗	H29. 5. 21	大正池業務課
人長 真弥	H29. 12. 27	大正池業務課
西田 良彦	H31. 4. 1	公園管理課
稲村 真悟	H31. 4. 21	公園業務課

### 6-3. 会議に関する事項

#### (1)理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2021.5.31	第1号議案 計算書類及び事業報告等承認の件 第2号議案 評議員、監事候補者の選定及び 評議員会へ上程する件 第3号議案 定期評議員会の開催を議決する件	可決
2022.3.24	第1号議案 2022(令和4)年度事業計画及び 予算を承認する件	可決

#### (2)評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2021.6.19	第1号議案 計算書類及び事業報告等承認の件 第2号議案 評議員及び監事の任期満了による選任の件	可決

上記の評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催とした。